



2018-19 年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになろう

2018-19 年度 国際ロータリー会長 バリー・ラソン

RI 2630 地区 岐阜東濃グループ



本日の例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ソング = 「我等の生業」
3. ゲスト、ビジターの紹介
4. 食事と交歓
5. 会長の時間
6. 出席報告、コボックス発表、委員会報告、幹事報告
7. 卓話 服部内科クリニック院長 服部愛弘君
「時間生物から見た病気の予防」 / 職業奉仕委員会担当
8. 閉会点鐘

今後の例会予定

- 4月 4日 = 季節を味わう家族例会 / 親睦委員会担当
劇団四季「ノートルダムの鐘」ミュージカル鑑賞
& あつた蓬萊軒本店夕食会 市役所 11:00 出発
- 11日 = 普通例会 / 例会運営委員会担当
会員卓話 岡山金平パスト会長
「ロータリー活動を振り返って」
- 18日 = クラブフォーラム「地区協議会報告」
/ 吉川会長エレクト担当
- ※4月度定例理事会 2F 会議室 13:35~
- 25日 = 特別休会

卓話者紹介



はっとり よしひろ
服部 愛弘君

昭和 33 年 (1958 年) 5 月 21 日生 (61 歳)
勤務先 (医療法人社団) 愛心会
服部内科クリニック
医学博士、循環器専門医、内科総合専門医

略 歴

昭和 33 年生まれ、愛知県犬山市出身。
昭和 58 年名古屋大学医学部卒
名古屋第一赤病院、名古屋大学病院を経て、
平成 3 年より中津川市民病院循環器部長。
平成 12 年服部内科クリニック開業 現在に至る。
平成 13 年 1 月中津川 RC 入会

会長の時間

田口義也会長



3 月 11 日の 3 クラブ合同例会以来、暫くぶりの普通例会です。会長の時間も何を話そうかと思っているところがありますが、今年度は例会に於いても各会員の皆様の職業や、体験した職業奉仕について もっと知りたいの思

いでスタートしましたので、私の仕事について会長の時間を再開したいと思っています。

私の会社は、「トライ」です。なぜかと言えば 会社を起業するに当たり 私自身への挑戦でもある、単純な「トライ」から来ています。当初は相談を持ちかけた方々から何をされる会社か分かりづらい、そんな会社名は良くないと言われました。確かなあ〜と色々と考えたのですが、どう考えても、その当時の私にとっては不安が 9 割、何もかもがトライでしかなかったのです。

決断のきっかけは、平成 7 年 (1995 年) 1 月 17 日午前 5 時 46 分に発生したマグニチュード 7.3 最大震度 7 の「阪神淡路大震災」でした。

特に長田区を始めとする大火災により一面焼け野原となった状況は、当時の住居表示である ○○区○○番地では、土地の所在も確定することは困難であり、大切な財産を脅かしていました。後に国が全国的に道路を骨格とする、地形図等の電子化に取り組み、時間の掛かる確定測量から地図の電子化を早期に行い、全国の道路の中心線を統一した座標で整備するという取り組みでした。

私の中ではとても面白そうであり、何といってもこれから始まるまったく新しい 地理情報活用を予感させるものでした。地形図を「数値地図」と称し それに纏わる様々なものを「空間情報」と呼び、今まで測量等で数値化した座標を点ではなく線や面としてとらえ、それぞれに属性としての情報を与えることにより、今まで、紙図面として納め使い勝手の悪かった大判の地図は、コンピュータを活用し拡大したり縮小したり移動したりでき、マウスをクリックをするだけで、それが何であり 誰の所有であるかが瞬時に分かる便利なものになるというものでした。今では当たり前ですが わずか 24 年前には全てが新鮮であり 私のやりたい事が見つかった瞬間でした。